

“皆さまの声”は、横浜市議員 望月高德 が承ります!

■ 望月こうとく 政務活動事務所

〒224-0003 都筑区中川中央 1-24-17-201
(市営地下鉄センター北駅1番口よりノースポート側すぐ)

TEL&FAX: 045-532-9089

E-mail: info@khotoku.net

http://www.khotoku.net/



【当レポート発行者プロフィール】

横浜市議員[都筑区選出] 望月高德(もちつきこうとく)。
静岡県出身。1989年4月より横浜市在住。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。(株)野村総合研究所社員、学習塾経営、専門学校講師などを経て、2011年4月より現職[3期目]。

2020年度担当委員会は、水道・交通
常任委員会、減災対策推進特別委
員会、市会運営委員会(副委員長)。
立憲・国民フォーラム市会議員団所
属(副団長)。

政治を志した原点は、学生時代の
新聞奨学生体験。

政治信条は、公正・共生・寛容。



キリトリ ✂

“皆さまの声”を気軽にお寄せください。ご記入日/2020年 月 日

横浜市政や区政、あるいは政治全般について、お気付きの点やご意見があれば教えてください。
ご意見は、上記FAX番号へ送信または上記住所へご郵送くださるようお願いいたします。

.....

(ふりがな)	年齢	性別
ご記入者 氏名	歳	男・女
ご記入者 住所		
ご連絡先 電話番号	()	Email @

※以上の項目は、すべて任意です。可能な項目のみご記入をお願いいたします。 ※お寄せいただいた個人情報は、適正に管理いたします。
※ご連絡先のご記入がある方には、望月から回答のためご連絡を差し上げたり、市政報告会などのご案内をさせていただきます。

横浜市議員(都筑区)

もちつき

望月こうとく みんなの声の広場

市政
レポート

第36号

2020年5月25日
発行



http://www.khotoku.net/

TEL: 045-532-9089
E-mail: info@khotoku.net

新型コロナウイルスに 支え合いで、打ち克つ!

【カジノ型IRよりも命を守る施策を最優先すべき】

今回のレポートでは、1月30日から3月24日に開催された令和2年第1回定例会での新年度横浜市予算案についての市長との質疑の模様や、5月12日から15日まで新型コロナウイルス対策事業費を審議するため4日間開かれた臨時議会のことをお伝えします。

Topic 1 令和2年度予算案を市長に真っ向から問う。 市民の健康と命そして暮らしを守る感染症対策を第一に!!

1月30日より3月24日まで約2か月間にわたって、令和2年第1回定例会が開催されました。この定例会の最大の役割は、新年度予算案の審議と議決となります。私は、この令和2年度予算案の審議において、予算第1特別委員会の副委員長を務めるとともに、審議後半の3月19日には、総合審査(連合審査)に会派を代表し質疑に立ち、市長に対して**カジノ型IRの問題点**や市長が**建設に向けて熱を上げている新たな劇場整備**そして**新型コロナウイルス関連の重要問題**を、提言を交えつつ問いただきました。



〔予算特別第1委員会副委員長を務める〕

キリトリ ✂

市民の声に謙虚に耳を傾けよ。 まともな回答がない市長答弁!



[3月19日予算案の問題点を市長に問う①]

これまで、大きく言って2つの理由からカジノ型IRに望月が反対であることは、皆さまにお伝えしてきました。

ひとつ目は、カジノ型IRは、税金や経済効果あるいは観光振興など、導入によって得られると賛成派から主張されるメリット効果と、一方で必ず考慮しておかなければいけない基盤整備費などの公的負担、依存症の発生やその対策費あるいは治安維持対策費などの社会的コスト、事業が失敗した場合のリスク負担などのデメリット効果を比較した際に、中長期的に見ればデメリットがメリットを上回ってしまう可能性が高いということ。

ふたつ目は、百歩譲って、仮に市長や賛成派が強調するメリットが多く得られるとしても、所詮ギャンブルであるカジノを柱とするIR施設に頼った街づくりを本市がすべきなのか、ギャンブル由来の税金に行政が期待しているのかということ。

これら2つの視点から市長はどう考えているのか、真っ向から問わなければいけません。例えば、**得られると市長が強調する820億円～1,200億円の税金効果は、実は、その具体的な算出根拠すら明らかにされていません。**それは、各事業者側が出してきた数値に過ぎません。その中身はまさにブラックBOX。ただ信じてくれというばかりです。こうしたことを検証すらせず真に受けているようでは、議会の存在意義が問われます。残念なことに賛成派の方は、この不明瞭な点を問題と考えていないようです。

カジノ型IR導入の賛否いずれの立場にせよ、検証は必要なことなのだから、当然、中身を明らかにすべきこ

とを市長に迫りました。しかし市長の答弁は、これまでと同じ。木で鼻をくくったような態度で、算出根拠が明らかにされることはありませんでした。

上述の通りで、**私がカジノ型IRに反対する理由に、ギャンブル収益に頼るような財政・市営運営、そして街づくりでいいのかという点があります。**ある意味、これが最も重要な理由です。私は、市長が目論むような税金他の経済的なメリットがあっても、ギャンブル収益に頼った市政運営はすべきでないと考えています。この点は、市政運営は言うに及ばず政治を進める上での哲学ともいえます。市長が、その辺りをどう考え、どういった感覚でカジノ型IRを導入しようとしているのか、知る必要があるので質問しました。**判ったことは、ギャンブル収益に頼ることに、まったく躊躇や違和感が市長にはないということです。**

ひとつひとつ問題点を挙げることは紙面の都合上出来ませんが、市長との質疑で様々な問題点が明らかになりました。**多くの市民がカジノ型IRを導入することに懸念や反対の声を寄せる中で、そうした声に真摯に耳を傾け、疑問に答えることができない市長は、間違っています。**

令和2年度予算案に反対 いま注力すべきは、新型コロナウイルス対策!!

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、残念ながら長期化すると覚悟する必要があります。しかし市長は、そう捉えていないかのようです。カジノ型IR導入だけでなく、インバウンド(外国人観光客)頼みの事業(例えばクルーズ客船誘客事業など)や新たな劇場整備を進めようとしています。“新たな生活様式”が求められている今であっても、遠からずこれまでの状態に戻せるとお考えになっているようです。もちろん、そうあって欲しいとは思いますが、現実と向き合う必要があります。いま必要なのは、不要不急の事業は止めて、**“市民の健康と命そして暮らしを守る施策”の実施に予算も人員も集中すること**です。当然、次の感染拡大の波に備え、想像力をもって、あらゆる対策を総合的に進めていくことです。

この視点で評価した時、市長提出の新年度予算案や今後の市政運営の方向性に危惧を覚えました。**だから**

こそ、新年度予算案に、望月は反対を致しました。今後は、“市民の健康と命そして暮らしを守る”ことを、市長並びに当局に徹底的に求めていきます。

新型コロナウイルスとの戦いは、今後どうなっていくのかなか見通せません。ただし、不安で不確かだからこそ、**市民が出来るだけの自助努力を尽くすとともに、互いに支え合いの心を大事にして、この感染症と向き合っていくことが必要です。**皆さま、負けずに頑張りましょう!



[3月19日予算案の問題点を市長に問う②]

Topic 2 臨時会開催される。新型コロナウイルス対策関連費を審議

5月12日から15日の4日間、令和2年第1回臨時会が開かれました。開催目的は、予算総額約5,744億円の補正予算案について審議するため、ほぼ新型コロナウイルス対策関連費となります。

例えば、国が予算を確保し、実務は基礎自治体が担う住民一人当たり10万円の特別定額給付金の給付事業費も含まれます。予算案の中身を見ると、予算総額が例を見ないほど大規模である一方で、ほとんどが国費関係費で市独自の予算が極端に少ないなどの問題もありました。決して十分とは言えない内容でしたが、給付金や各事業者への支援事業の早期の実施を重視し、予算案には賛成しました。

今後は、不要不急の事業の執行停止と予算の組み替え、そして新型コロナウイルス収束に向けて市ができること、やるべきことを着実かつ早期に実施するよう、議員として徹底して求めていきます。

令和2年度予算案総合審査で 新型コロナウイルスに関連し、 市長に対して求めたこと。

3月19日の市長に対する令和2年度予算案の総合審査の際、新型コロナウイルス対策として市がやるべきことを提言も交え、当然求めました。質問時間の関係で実際にやり取りした項目は限られていますが、事前に危機管理や医療部門あるいは経済対策を担う部門その他、関連する部署にかなり細かいことも含め、対応を求めました。

その際、最も重視し一貫して求めた事は、危機感と緊張感を持って**“市民の健康と命そして暮らしを守ることを第一に、徹底して、この感染症に対する備えを進めていくこと”**です。

市長との質疑の場では、具体的には感染拡大に備えた医療体制の確保やクルーズ客船事業の見直し、新型コロナウイルス(インフルエンザ等)特措法への対応などをただしました。このうち医療体制の確保については、移転が決まっていた旧市民病院を軽症者の受け入れ施設として活用するなどの形で実を結びました。

特別定額給付金に関するお問合せは、**ナビダイヤル 0570-045592** まで。



[5月15日補正予算審議のための臨時会議決前に]

市政レポートは、元々4月半ばに発行を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大と緊急事態宣言の発出を考慮し、時期を変更しました。

例年、定例会終了後毎に開催しております市政報告会(タウンミーティング)は、実施を見送りました。今後は、新型コロナウイルスの収束状況を慎重に見極め、開催の可否や方法と時期を判断していきます。